



循社第269号
平成28年6月22日

一般財団法人千葉県環境財団理事長 様
一般社団法人千葉県環境保全協議会会長 様
千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会会長 様

千葉県環境生活部循環型社会推進課長
(公印省略)

千葉県循環型社会形成推進功労者等表彰（循環型社会形成推進功労者）
における被表彰候補者の推薦について（依頼）

日頃、本県における循環型社会づくりの推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、県では、廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の推進に向けた活動に継続的に取り組み、循環型社会の形成推進に向けて大きな功績があった方に対して、感謝状を贈呈し表彰しています。

つきましては、別添「千葉県循環型社会形成推進功労者等表彰事務取扱要領」（以下「要領」という。）を御確認の上、候補者を選考していただき、平成28年7月22日（金）までに下記により書類を提出してくださいますようお願いいたします。（提出は郵送でお願いします。）

また、該当がない場合にもその旨御回答くださいますようお願いいたします。
(FAX、電子メール可)

なお、選考の結果、推薦をいただいた候補者が受賞できない場合もありますので、
御了承願います。

記

1 提出書類

提出書類 被候補者	審査票		推薦調書	
	様式1の1	様式1の2	様式1	様式2
個人	○		○	
団体		○	○	
事業所		○		○

2 推薦及び書類作成にあたっての注意点

- (1) 候補者の年齢及び従事年数は、平成 28 年 4 月 1 日現在としてください。
- (2) 平成 19 年度まで実施していた「千葉県リサイクル等功労者表彰」で知事感謝状及び部長感謝状を受賞した者は、本表彰においてそれぞれの感謝状を受賞したものと同様にみなしますので、御留意ください。
- (3) 様式について電子媒体を入手されたい場合は、下記のアドレスまでメール送信していただければ返信いたします。

【提出先】

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
千葉県循環型社会推進課資源循環企画室

TEL. : 043-223-2645

FAX. : 043-221-3970

E-Mail : e-sigen@mz.pref.chiba.lg.jp
(担当：南部)

千葉県循環型社会形成推進功労者等表彰事務取扱要領

(目的)

第1条 この要領は、県内で廃棄物の適正処理及び廃棄物の発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）・再生利用（リサイクル）の活動を通じて、循環型社会形成の推進に功労のあった個人、団体及び事業所を表彰し、その功績に報いるとともに、廃棄物の適正処理及び3Rに関する意識の高揚を図ることにより、循環型社会の形成を推進するため、千葉県表彰規則及び千葉県表彰事務取扱要綱に基づき必要な事項を定める。

(表彰の区分)

第2条 表彰は、一般廃棄物関係事業功労者、産業廃棄物関係事業功労者及び循環型社会形成推進功労者について、知事及び環境生活部長の感謝状をもつて行う。

(1) 一般廃棄物関係事業功労者

市町村、一部事務組合等の清掃現場作業員若しくは事務職員であって、多年にわたり一般廃棄物の収集運搬業若しくは処分業に従事し、又は清掃事業者（ごみ・し尿の収集運搬処理、浄化槽）の役員若しくは作業員であって、多年にわたり市町村の清掃業務に協力し、勤務成績優秀かつ人格円満で他の模範であると認められる者

(2) 産業廃棄物関係事業功労者

① 不法投棄監視員の部

市町村の不法投棄監視員として多年にわたり継続して監視活動に携わり、産業廃棄物の適正処理に大きな功績があったと認められる者

② 産業廃棄物排出事業者の部

産業廃棄物排出事業場において、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第21条に定める技術管理者等としての業務に多年にわたり従事し、産業廃棄物の適正処理に大きな功績があったと認められる者

③ 産業廃棄物処理業者の部

産業廃棄物処理業に多年にわたり従事し、産業廃棄物の適正処理に大きな功績があるとともに、業界の発展に功績があったと認められる者

(3) 循環型社会形成推進功労者（個人・団体、事業所）

廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用の推進に向けた活動に継続的に取り組み、循環型社会の形成推進に向けた功績が大きいと認められる個人・団体及び特に貢献の認められる事業所

(表彰の基準)

第3条 感謝状の選考基準については、別表1のとおりとする。

(表彰候補者の推薦)

第4条 表彰候補者は、表彰の区分に応じ、次の団体及び関係課から推薦を受けるものとする。

(1) 一般廃棄物関係事業功労者

- ア 市町村及び一般廃棄物関係一部事務組合
- イ 一般社団法人千葉県浄化槽協会
- ウ 一般社団法人千葉県環境保全センター

(2) 産業廃棄物関係事業功労者

① 不法投棄監視員の部

- ア 市町村

② 産業廃棄物排出事業者の部

- ア 一般社団法人千葉県環境保全協議会
- イ 一般財団法人千葉県環境財団
- ウ 一般社団法人千葉県建設業協会

③ 産業廃棄物処理業者の部

- ア 一般社団法人千葉県産業廃棄物協会
- イ 千葉県産業廃棄物処理業協同組合

(3) 循環型社会形成推進功労者（個人・団体、事業所）

- ア 市町村及び一般廃棄物関係一部事務組合

- イ 関係課（別表2）

第5条 第4条の推薦団体等は、第3条の表彰の基準に該当する者について、次の書類を添付して、表彰候補者として知事または環境生活部長に推薦するものとする。

(1) 一般廃棄物関係事業功労者

審査票（様式1の1）

(2) 産業廃棄物関係事業功労者

審査票（様式1の1）

(3) 循環型社会形成推進功労者

1 個人の場合

審査票（様式1の1）

2 団体、事業所の場合

審査票（様式1の2）

(知事感謝状の選考)

第6条 知事は、推薦のあった者について審査し、次の区分により被表彰者を選考する。なお、同様の功績で大臣又は知事から表彰を受けた者を除く。

(1) 一般廃棄物関係事業功労者 20名以内

(2) 産業廃棄物関係事業功労者

① 不法投棄監視員の部 5名以内

② 産業廃棄物排出事業者の部 2名以内

③ 産業廃棄物処理業者の部 2名以内

(3) 循環型社会形成推進功労者

- ① 個人・団体
② 事業所

5名(団体)以内
3事業所以内

(部長感謝状の選考)

第7条 環境生活部長は、推薦のあった者について審査し、次の区分により被表彰者を選考する。なお、同様の功績で環境生活部長から表彰を受けた者を除く。

(1) 一般廃棄物関係事業功労者	75名以内
(2) 産業廃棄物関係事業功労者	
① 不法投棄監視員の部	15名以内
② 産業廃棄物排出事業者の部	5名以内
③ 産業廃棄物処理業者の部	5名以内
(3) 循環型社会形成推進功労者	
① 個人・団体	15名(団体)以内
② 事業所	5事業場以内

(表彰の方法)

第8条 感謝状の贈呈は年1回開催する「千葉県廃棄物適正処理推進大会」において行うものとする。

附 則

- 1 この要領は、平成20年8月8日から施行する。
2 産業廃棄物減量化・再資源化優良事業場千葉県表彰実施要綱(平成9年9月30日適用)及び千葉県リサイクル功労者等表彰要綱(平成16年9月8日適用)は廃止する。

附 則

この要領は、平成21年6月24日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年7月21日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年8月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成26年8月19日から施行する。

附 則

この要領は、平成27年8月3日から施行する。

附 則

この要領は、平成28年6月22日から施行する。

別表1（感謝状の選考基準）※1

表彰区分		知事感謝状		環境生活部長感謝状	
	従事年数	年齢	従事年数	年齢	
市町村、一部事務組合、公社	20年以上	50歳以上 ※2	16年以上	45歳 以上 ※3	
清掃事業者 (ごみ・し尿の収集運搬処理、浄化槽)	役員 作業員	15年以上 20年以上	役員 作業員	10年以上 16年以上	
不法投棄監視員の部		10年以上	50歳以上 ※2	5年以上	
産業廃棄物排出事業者の部		20年以上		15年以上	
産業廃棄物処理業者の部		20年以上		15年以上	
個人	概ね10年以上 ※4	60歳以上	概ね7年 以上	55歳 以上	
団体		概ね7年以上 ※4			
事業所					

※1 基準年月日は、表彰実施年度の4月1日とする。

※2 過去に部長感謝状を受賞していること。60歳未満の候補者については、部長感謝状の受賞から2年以上経過していること。

※3 過去に千葉県環境衛生促進協議会会長感謝状を受賞していること。55歳未満の候補者については、千葉県環境衛生促進協議会会长感謝状の受賞から3年以上経過していること。

※4 原則として過去に部長感謝状を受賞していること。ただし、その活動内容が画期的であり顕著な功績を残したものにあってはこの限りではない。

別表2 (関係課)

部	課
環境生活部	環境政策課
	循環型社会推進課
	廃棄物指導課
	くらし安全推進課
	県民生活・文化課
商工労働部	経済政策課
農林水産部	安全農業推進課
県土整備部	県土整備政策課
	技術管理課
水道局	総務企画課
教育庁 (教育振興部)	指導課

知事・部長感謝状審査票(個人)

年 度	平成28年度	表彰実施日	(未定)
表彰の名称	循環型社会形成推進功労者		
担当部局		担当課	(所属) (担当)
ふりがな			
氏 名		従事年数	年 か月
生年月日		年齢(歳)	
住 所	〒		
最終学歴			

表彰歴	表彰年月日	表彰名(受賞功勞名)	表彰者

功績概要

様式1の2

知事・部長感謝状審査票(団体・事業所)

年 度	平成28年度		
表 彰 の 名 称	循環型社会形成推進功労者	表彰実施日	(未定)
担 当 部 局		担 当 課	(所属) (担当)
ふ り が な		ふ り が な	
団 体 の 名 称		代表者氏名	
所 在 地			
法 的 根 拠		設立年月日	
設 立 の 目 的			
団 体 の 沿 革			
活 動 範 囲		組合員数 又は会員数	
役 職 員 構 成		年予算額	

功 績 概 要			
---------	--	--	--

表 彰 歴	表彰年月日	表彰名(受賞功労名)	表彰者

樣式 1

推薦調書（個人・団体用）

1. 候補者の名称、連絡先等

※1 表彰状はこの欄に記載された名称により作成しますので、正確にご記入下さい。

(連名による応募の場合、もう1者の名称・連絡先等を記入し各者押印して下さい。3者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加して下さい)

※1 表彰状はこの欄に記載された名称により作成しますので、正確にご記入下さい。

2. 3R活動の実施内容

今回、推薦を受ける3R活動の内容について記入して下さい。なお、記入欄の大きさが足りない場合は、適宜拡げて下さい。

①活動テーマ名	<p>今回、推薦を受ける3R活動の内容を端的に表すテーマ名を付けて下さい。</p> <p>(記入例)「あきびん、PETボトルの回収活動」、「市民が中心となったマイバッグ運動の展開」等</p>
②活動の概要	<p>3R活動の概要を1,000字程度で記入して下さい^{※2}。また、活動の様子が分かる写真等（デジタルデータまたはプリント）を添付して下さい。</p> <p>(記入例) 使用済み〇〇の回収・リユース活動を昭和□□年より実施している。当時、〇〇のリユースは困難とされ、ほとんど行われていなかったが、当グループでは行政・回収業者・メーカーへの働きかけにより、全国に先駆けてこれを実現した。開始当初のリユース量は□□t／年であったが、毎年着実に量を増やし、現在では□□t／年となっている。また、〇〇リユース運動を広めるために、各地のNPO等を対象に〇〇リユースの手法やノウハウに関する講習会を開催し、これまでに、受講した市民グループが全国10箇所で〇〇リユースに取り組むようになった。</p>

③3R活動の区分	<p>実施している活動の区分について、該当するものに○を付けて下さい（複数選択可）。リデュース・リユース・リサイクルのどれに該当するか判断が付きにくい場合は、19ページの「取り組みの例」を参考にして下さい。</p> <table border="1" data-bbox="446 323 1315 444"> <tr> <th>リデュース</th> <th>リユース</th> <th>リサイクル</th> <th>啓発普及等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等															
リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等																	
④活動開始時期・継続年数	3R活動を開始した年月及び継続年数を記入して下さい。																			
⑤対象品目・量等の実績	<p>3R活動の対象品目、および過去3年間にリデュース・リユースまたはリサイクルした量の実績を記入して下さい。</p> <table border="1" data-bbox="454 664 1336 978"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品目</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>t m³</th> <th>t m³</th> <th>t m³</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> <tr> <td></td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> </tr> </tbody> </table>	品目	年度	年度	年度	年度		t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³	t m ³		t m ³	t m ³	t m ³	t m ³
品目	年度		年度	年度	年度															
		t m ³	t m ³	t m ³																
	t m ³	t m ³	t m ³	t m ³																
	t m ³	t m ³	t m ³	t m ³																
⑥活動による効果	<p>3R活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入して下さい。</p> <p>【廃棄物の削減効果】</p> <p>【省資源・省エネルギー効果】</p> <p>【環境保全効果】</p> <p>【その他の効果】</p>																			

⑦活動地域の範囲、他の3R活動主体や他地域との連携協力、地域密着性	3R活動の実施地域の範囲を記入して下さい。
	他の3R活動主体や他地域との連携・協力をしている場合は、その内容を具体的に記入して下さい。
	地域の特性や廃棄物問題を踏まえた3R活動である場合、その内容を具体的に記入して下さい。
⑧活動の頻度	3R活動の実施頻度を記入して下さい。 (記入例) びんの回収:週1回、古紙の回収:毎日、フリーマーケット開催:月1回等
⑨独創性・先鞭性	他にあまり例を見ない独創的な3R活動や、他に先駆けた先進的な取り組みを行っている場合は、その内容、及び独創的・先進的であると考える理由を記入して下さい。
⑩啓発普及・教育活動の実施、波及効果	3Rに関する啓発・教育活動を行っている場合は、実施内容と成果を具体的に記入して下さい。
	他の団体等の3R活動に与えた波及効果がある場合、具体的に記入して下さい。
⑪その他活動の工夫点	上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入して下さい。

3. 過去の受賞歴

過去に表彰制度で賞を受けたことがある方は、以下をご記入下さい。

受賞年度	賞の種類	受賞した3R活動の内容 (該当する方に○を付けて下さい)		過去受賞時の団体名が 現在と異なる場合、当時の 名称を記入して下さい。
		(A) 今回の応募内容に関連 したテーマの活動	(B) 今回の応募内容とは 別テーマの活動	

上記で(A)に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、3R実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入下さい。

（記入例）

	過去（ 年度）受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
3R活動の内容 (拡大発展した ポイントが分か るように対比)	・資源ごみの集団回収活動 ・生ごみの堆肥化	左記の活動に加え、〇〇年から家具・日用品等の修理・不用品交換の事務局活動を開始。リサイクルのみならずリユースにも取り組むようになった。また、資源回収の対象品目も増え、活動の参加者やリサイクル量実績も格段に進展した。
3R対象品目 について	・集団回収： 古紙、ガラスびん、アルミ缶 ・堆肥化： 生ごみ	・集団回収： 古紙、ガラスびん、アルミ缶、P E Tボトル ・堆肥化： 生ごみ ・不用品交換： 家具・衣類・日用品・図書等
3Rの実績量 について	・古紙回収量： 500kg／年 ・ガラスびん回収量： 1,000本／年 ・アルミ缶回収量： 200kg／年 ・生ごみ処理量： 150kg／年 (堆肥生産量： 40kg／年)	・古紙回収量： 1,200kg／年 ・ガラスびん回収量： 2,500本／年 ・アルミ缶回収量： 800kg／年 ・生ごみ処理量： 500kg／年 (堆肥生産量： 200kg／年) ・不用品交換の成立実績： 120件／年
活動の実施地域 について	〇〇町内で実施	〇〇町に加え、隣接する××町、△△町に活動範囲を拡大。
活動の参加者数 について	〇〇町内の25世帯が活動に参加	〇〇町50世帯、××町15世帯、△△町20世帯が活動に参加するようになった。
活動の質的な 向上について	生ごみ堆肥は、グループメンバーが自宅の庭 や家庭菜園で使用。	左記に加え、地元農家に協力を求め、野菜栽培に生ごみ堆肥 を使ってもらうようになった。
上記以外の進展 事項、アピールし たいポイント	他の3R活動グループとの情報交流を通じて活動のレベルアップを図るために、平成〇〇年にホームページ とインターネット掲示板を開設した（アドレス http://〇〇〇〇.jp ）。	

<参考>

リデュース・リユース・リサイクル（3R）の取り組みの例について

1. リデュース (Reduce=発生抑制)

製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや、廃棄物の発生を少なくすること等をいう。

(取り組みの例)

- 製品をつくる時に、原材料を無駄なく効率的に使うよう工夫する。
- 製品を設計する時に、出来るだけ長く使えるような工夫をする。
- 簡易梱包や簡易包装に努める。
- 修理や点検等のアフターサービスを充実することにより、製品の長期使用促進に務める。
- 耐久消費材は手入れや修理をしながら長く大事に使う。
- 詰め替え容器に入った製品を選ぶようにする。
- マイバックを持って、無駄な包装は断るようとする。等

2. リユース (Reuse=再使用)

使用済み製品やその部品等を繰り返し使用することをいう。

(取り組みの例)

- 製品を設計する時に、本体や部品のリユースがしやすいような工夫をする。
- 使用済みとなった自社製品や部品の回収・リユースに努める。
- リターナブル容器に入った製品を選ぶようにする。
- フリーマーケットやガレージセール等を開催し、不用品の再使用に務める。等

3. リサイクル (Recycle=再生利用)

廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用することをいう。

(取り組みの例)

- 製品をつくる時に、出来るだけリサイクル原材料を使う。
- 製品を設計する時に、使用後のリサイクルがしやすいような工夫をする。
- 使用済みとなった自社製品の回収・リサイクルに努める。
- 自社で発生した副産物・産業廃棄物のリサイクルに努める。
- 資源ゴミの分別回収に協力する。
- リサイクル製品を積極的に利用する。等

様式 2
(事業所用)

推薦調書 (事業所用)

1. 候補者の名称、連絡先等

①候補者名※ ¹ (事業所の名称)	(ふりがな)
②代表者役職・氏名	印
③連絡担当者の所属部署・役職・ 氏名	
④連絡先	住 所 : (〒 —) 電 話 : FAX : E-mail :

※1 表彰状はこの欄に記載された名称により作成しますので、正確にご記入下さい。

(連名による応募の場合、もう1者の名称・連絡先等を記入し各者押印して下さい。3者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加して下さい)

①候補者名※ ¹ (事業所の名称)	(ふりがな)
②代表者役職・氏名	印
③連絡担当者の所属部署・役職・ 氏名	
④連絡先	住 所 : (〒 —) 電 話 : FAX : E-mail :

※1 表彰状はこの欄に記載された名称により作成しますので、正確にご記入下さい。

2. 3R活動の実施内容

今回、推薦を受ける3R活動の内容について記入して下さい。なお、記入欄の大きさが足りない場合は、適宜拡げて下さい。

①活動テーマ名	<p>今回、推薦を受ける3R活動の内容を端的に表すテーマ名を付けて下さい。 (記入例)「使用済み〇〇の自主的な回収・リユースの実施」、「半導体工場から発生する各種廃棄物の発生・排出削減」等</p>
②活動の概要	<p>3R活動の概要を1,000字程度で記入して下さい^{※2}。また、活動の様子が分かる写真等(デジタルデータまたはプリント)、添付して下さい。</p> <p>(記入例) 使用済み〇〇の自主的な回収・リユースを他社に先駆けて平成□□年より実施している。使用済み〇〇は現在の法律・ガイドラインでは回収は義務づけられていないが、当社は〇〇のトップメーカーとして年間□□□tもの〇〇が廃棄・不法投棄されていることに鑑み、これに取り組んだ。回収の実施に当たっては販売店・流通業者等と検討を重ね、最適な回収システムを構築するとともに、お客様に対して〇〇回収への協力を呼びかける店頭キャンペーン等を実施している。</p> <p>また、回収した〇〇の分解・部品検査・劣化箇所の交換・再組立・動作確認に関する技術、及び再生〇〇の品質基準を独自に確立し、従来困難とされていた〇〇のリユースを実現した。当初のリユース量は□□台/年であったが、毎年着実に量を増やし、現在では□□台/年となっている。</p> <p>さらに、〇〇リユースを業界全体に広めるために、同業他社に対しても技術やノウハウを開示するとともに、小中学生を対象としたリユース工場の見学会を開催する等により、地域における3R啓発・教育にも尽力している。</p>

③3R活動の区分	<p>実施している活動の区分について、該当するものに○を付けて下さい（複数選択可）。リデュース・リユース・リサイクルのどれに該当するか判断が付きにくい場合は、別紙「取り組みの例」を参考にして下さい。</p> <table border="1" data-bbox="438 338 1304 462"> <tr> <th>リデュース</th> <th>リユース</th> <th>リサイクル</th> <th>啓発普及等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等																			
リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等																					
④活動開始時期・継続年数	3R活動を開始した年月及び継続年数を記入して下さい。																							
⑤対象品目・量等の実績	<p>3R活動の対象品目、および過去3年間にリデュース・リユースまたはリサイクルした量の実績を記入して下さい。なお、リサイクルの場合は、再生品の名称や用途（例：再生紙、ガス化燃料、セメント原料、高炉還元材利用等）を記入して下さい。</p> <table border="1" data-bbox="454 720 1336 1034"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品目</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>再生品・用途 (リサイクルの場合)</th> </tr> <tr> <th>t m³</th> <th>t m³</th> <th>t m³</th> <th>t m³</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td>t m³</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	品目	年度	年度	年度	年度	再生品・用途 (リサイクルの場合)	t m ³	t m ³	t m ³	t m ³			t m ³	t m ³	t m ³	t m ³			t m ³	t m ³	t m ³	t m ³	
品目	年度		年度	年度	年度	再生品・用途 (リサイクルの場合)																		
	t m ³	t m ³	t m ³	t m ³																				
	t m ³	t m ³	t m ³	t m ³																				
	t m ³	t m ³	t m ³	t m ³																				
⑥活動による効果	<p>3R活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入して下さい。</p> <p>【廃棄物の削減効果】</p> <p>【省資源・省エネルギー効果】</p> <p>【環境保全効果】</p> <p>【その他の効果】</p>																							

<p>⑦活動地域の範囲、他の3R活動主体や他地域との連携協力、地域密着性</p>	<p>3R活動の実施地域の範囲を記入して下さい。</p> <p>他の3R活動主体や他地域との連携・協力をしている場合は、その内容を具体的に記入して下さい。</p> <p>地域の特性や廃棄物問題を踏まえた3R活動である場合、その内容を具体的に記入して下さい。</p>
<p>⑧独創性・先鞭性</p>	<p>他にあまり例を見ない独創的な3R活動や、他に先駆けた先進的な取り組みを行っている場合は、その内容、及び独創的・先進的であると考える理由を記入して下さい。</p>
<p>⑨啓発普及・教育活動の実施、波及効果</p>	<p>3Rに関する啓発・教育活動を行っている場合は、実施内容と成果を具体的に記入して下さい。</p> <p>他の事業所等の3R活動に与えた波及効果がある場合、具体的に記入して下さい。</p>
<p>⑩その他活動の工夫点</p>	<p>上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入して下さい。</p>

(1)他の企業等の協力	<p>他の企業等（納入業者・下請け企業・廃棄物処理業者・リサイクル業者、等）の協力を得て3R活動を行っている場合、以下を記入して下さい。</p> <p>(a) 協力を得ている内容を記入して下さい。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">協力企業の業種</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">協力を得ている事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 10px;">(記入例) 建材メーカー</td> <td style="padding: 10px;">(記入例) 当工場で発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;">(記入例) 資材納入業者</td> <td style="padding: 10px;">(記入例) 資材の空き容器を引き取ってもらっている</td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) 協力企業における自社発生物のリサイクル状況の把握、並びに協力企業に対する支援等を行っている場合は、その内容を記入して下さい。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> <p>(記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認。 ・廃液のリサイクルを委託するに当たって、共同で再生技術の研究開発を行った。 </td> </tr> </table>	協力企業の業種	協力を得ている事項	(記入例) 建材メーカー	(記入例) 当工場で発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。	(記入例) 資材納入業者	(記入例) 資材の空き容器を引き取ってもらっている	<p>(記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認。 ・廃液のリサイクルを委託するに当たって、共同で再生技術の研究開発を行った。
協力企業の業種	協力を得ている事項							
(記入例) 建材メーカー	(記入例) 当工場で発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。							
(記入例) 資材納入業者	(記入例) 資材の空き容器を引き取ってもらっている							
<p>(記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認。 ・廃液のリサイクルを委託するに当たって、共同で再生技術の研究開発を行った。 								

3. 本表彰における過去の受賞歴

過去に本表彰制度で賞を受けたことがある方は、以下をご記入下さい。なお、同一会社でも別の事業所において受賞したものについては含めないで結構です。

受賞年度	賞の種類	受賞した3R活動の内容 (該当する方に○を付けて下さい)		過去受賞時の会社名・事業所名が現在と異なる場合、当時の名称を記入して下さい
		(A) 今回の応募内容に関連したテーマの活動	(B) 今回の応募内容とは別テーマの活動	

上記で(A)に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、3R実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入下さい。

(記入例)

	過去（ 年度）受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
3R活動の内容 (拡大発展した ポイントが分か るように対比)	工場で発生する各種廃棄物・副産物を極力工場内でリサイクルするとともに、自社内で利用できないものは、リサイクル業者の協力により各種リサイクル製品の原料として有効利用を図った。これにより、最終処分量を5年前の1/5(発生量の20%)に削減した。	左記の取り組みに加え、工場内の各工程において製法・工法の改良、歩留まり改善、容器・梱包等のリターナブル化等の手段によって、廃棄物・副産物の発生そのものを大幅に削減した。 これにより、最終処分量ゼロを達成した。
3R対象品目 及び実施方法 について	・塗料かす：樹脂成型品の增量材として再資源化。 ・洗浄用有機溶剤：蒸留して低品位溶剤に再生。 ・プラスチック端材：溶融ペレット化して売却。 ・段ボール箱：古紙回収業者に引き渡しリサイクル。 ・廃木製パレット：破碎・チップ化して建材ボード原料としてリサイクル。	・塗料かす：静電塗装の採用で発生量を90%削減。 ・洗浄用有機溶剤：純水洗浄に切り替え全廃。 ・プラスチック端材：工程内で100%循環利用。 ・段ボール箱：通い箱に切り替え発生量を95%削減。 ・廃木製パレット：長寿命型のプラ製パレットの採用で発生量を60%削減。破損パレットは補修して再使用。
活動の実施地域 について	当社○○工場、××工場の2事業所で実施。	左記に加え、当社□□工場、△△工場、及びグループ企業の2工場に技術移転を行い、現在全国6事業所で実施している。
活動の質的な 向上について		前回受賞時の取り組み内容はリサイクルに限定されていたが、現在は各工程で3R全般に亘る取り組みを組み合わせ、高い効果をあげることができた。
上記以外の進展 事項、アピール したいポイント	製法・工法の改良による副産物の発生削減技術は特許を取得した。この特許技術は同業他社や他業種の工場にも採用され、各種産業におけるリデュースの推進に寄与している。	

<参考>

リデュース・リユース・リサイクル（3R）の取り組みの例について

1. リデュース (Reduce=発生抑制)

製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや、廃棄物の発生を少なくすること等をいう。

(取り組みの例)

- 製品をつくる時に、原材料を無駄なく効率的に使うよう工夫する。
- 製品を設計する時に、出来るだけ長く使えるような工夫をする。
- 簡易梱包や簡易包装に努める。
- 修理や点検等のアフターサービスを充実することにより、製品の長期使用促進に務める。
- 耐久消費材は手入れや修理をしながら長く大事に使う。
- 詰め替え容器に入った製品を選ぶようにする。
- マイバックを持って、無駄な包装は断るようとする。等

2. リユース (Reuse=再使用)

使用済み製品やその部品等を繰り返し使用することをいう。

(取り組みの例)

- 製品を設計する時に、本体や部品のリユースがしやすいような工夫をする。
- 使用済みとなった自社製品や部品の回収・リユースに努める。
- リターナブル容器に入った製品を選ぶようにする。
- フリーマーケットやガレージセール等を開催し、不用品の再使用に務める。等

3. リサイクル (Recycle=再生利用)

廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用することをいう。

(取り組みの例)

- 製品をつくる時に、出来るだけリサイクル原材料を使う。
- 製品を設計する時に、使用後のリサイクルがしやすいような工夫をする。
- 使用済みとなった自社製品の回収・リサイクルに努める。
- 自社で発生した副産物・産業廃棄物のリサイクルに努める。
- 資源ゴミの分別回収に協力する。
- リサイクル製品を積極的に利用する。等